

2025年12月18日

各 位

株式会社西部技研
(コード: 6223、東証スタンダード)**BASC 発、蓄電池製造設備の共同事業「Swiftfab」始動**

—国家戦略と連動した一貫製造プラットフォーム構築に西部技研も参画—

当社を含む一般社団法人 電池サプライチェーン協議会（BASC）の会員企業9社は、蓄電池製造設備の新たな標準構築を目指す共同事業体「Swiftfab Energy Systems 株式会社（仮称、以下『当共同事業体』）」の設立に合意いたしました。当共同事業体は、BASCのタスクフォース活動を起点として生まれた、産業横断型の共同プロジェクト「Swiftfab（以下『本事業』）」を推進するために設立されるものです。

本事業は、経済産業省が定める蓄電池産業戦略の実現に向けた推進、および国内安定供給体制強化の一環として位置づけられ、BASC発の産業横断型の製造プラットフォーム構築を目指すものです。

本事業では、建屋・設備・生産システムを統合した電池製造ラインを開発・展開し、圧倒的短期間・低コストで高品質な製造拠点を構築可能とする仕組みを提供いたします。

本事業には、電池製造に関わる多分野の企業が参加してそれぞれの強みを結集。その中でBASCは中立的な推進母体として参画し、共同知財の整備・技術標準化・国際展開方針を調整いたします。また、本事業の成果は、今後BASC会員企業にも開放され、「共創型産業インフラ」として拡張していくことを予定しております。

BASC会長コメント

「Swiftfabは、これまでの“企業単独の努力”という枠を超えて、産業が力を合わせて全体最適で基盤を築き戦っていく世界初の試みです。電池産業7つの課題解決※に向けた大きな一歩であり、蓄電池産業の国際競争力強化に向け、日本が世界に示す新しいかたちを、ここから実現していきます。」

※7つの課題：①持続的な資源・製錬の確保 ②電池設備産業の構造変革 ③電池・部素材・設備製造への積極投資 ④中古車の国内還流促進 ⑤リサイクル資源の国内還流促進 ⑥電池価値向上に向けた情報流通整備 ⑦電池人材育成・確保スキームの構築

当社は、本事業において、蓄電池製造環境の開発・供給を担当し、蓄電池製造の高効率化・高信頼化を支援いたします。長年培った製造環境の空気の質をコントロールし維持する技術やエネルギー・コントロールのノウハウを活かし、本事業が掲げる「標準化されたものづくりの仕組み」を実現してまいります。日本発の製造モデルとして、国内外の生産拠点展開に積極的に貢献してまいります。

本事業の概要

事業名	Swiftfab 事業
事業主体	Swiftfab Energy Systems 株式会社（仮称）
設立時期	2026年4月（予定）
所在地	東京都港区（予定）
共同出資者	BASC 会員企業9社
事業内容	蓄電池製造装置・ラインの開発・設計・販売・運用支援
想定応用	自動車用・定置用リチウムイオン電池／次世代電池製造
問い合わせ先	Swiftfab 準備事務局 press@swiftfab.co.jp

以上

【参考情報】

1. 一般社団法人 電池サプライチェーン協議会（BASC）について <https://www.basc-j.com/>
一般社団法人 電池サプライチェーン協議会（BASC : Battery Association for Supply Chain）は、電池サプライチェーン全体の健全な発展を目指し、電池材料・設備・製造・サービスなど幅広い分野から244社（2025年11月時点）が参画する電池業界団体です。脱炭素社会（GX）・デジタル社会（DX）の実現に不可欠な電池産業の競争力強化に向け、経済産業省が策定する蓄電池産業戦略と連動し、個社単独では解決が困難な共通課題に対し、業界全体で迅速に取り組む活動を進めています。

2. 西部技研について <https://seibu-giken.com/>

西部技研は、「環境に優しい空気のソリューションを届ける。」をパーソナライズとして掲げ、蓄電池の製造環境に寄与するデシカント除湿機やVOC濃縮装置といった特殊空気処理装置の販売・サービスに加え、様々なニーズに応じた最適空間創出のためのシステムの提案、設計、製作、施工等のトータルエンジニアリングを通して、環境に優しい空気処理ソリューションをグローバルに提供しています。

本件に関するお問い合わせ先

本事業全体に関するお問い合わせ： Swiftfab 準備事務局 press@swiftfab.co.jp

当社に関するお問い合わせ： 株式会社西部技研 IR 担当 <https://seibu-giken.com/contact/>